

フィリピン・ミンダナオと 日本の貢献



フィリピン南部ミンダナオ島で1970年代から続いたイスラム武装勢力と政府軍の衝突が終息し、自治政府樹立を目指す和平プロセスが進んでいます。長年の紛争の影響を受けた地域の貧困率は高く、和平による地域の早期安定と経済成長が望まれています。セミナーでは、紛争影響地域における平和構築を通じた日本のこれまでの貢献と日本企業による経済開発の可能性を探ります。

現地報告

中坪 央暁 (株)国際開発ジャーナル社編集委員

パネリスト (五十音順)

加藤 聡 (株)長大マニラ事務所長

川島 緑 上智大学総合グローバル学部教授

土肥 優子 JICA 客員専門員

中川 享之 JICA平和構築・復興支援室 企画役

日時：6月7日(水) 18:00~20:00 (開場17:30)

会場：上智大学四谷キャンパス

2号館17階 国際会議場

要事前申込 こちらのURLまたはQRコードから

お申込みください。 <https://eipo.jp/sophia/seminars/>

お問合せ：上智大学国際協力人材育成センター

tel 03-3238-4687 eメール hrc-ic@cl.sophia.ac.jp



共催：国際協力機構 (JICA)
上智大学国際協力人材育成センター



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学国連Weeks2017年6月 平和構築セミナー フィリピン・ミンダナオ和平と日本の貢献

プログラム

18:00	開会 挨拶 上智大学長
18:10	現地報告
18:40	パネルディスカッション
19:30	Q&A

登壇者プロフィール

【現地報告】



中坪 央暁（なかつぼ・ひろあき）(株)国際開発ジャーナル社編集委員
同志社大学卒業。毎日新聞ジャカルタ特派員、編集デスクを経て、国際協力の専門誌
「国際開発ジャーナル」所属。東ティモール独立、アフガニスタン紛争のほか、フィリピン・
ミンダナオ島、南スーダン、ウガンダ北部などの紛争復興・平和構築を取材。東洋経済
オンラインでも発信。

【パネリスト】(五十音順)



加藤 聡（かとう・さとし）(株)長大マニラ事務所長
早稲田大学卒業。教育出版大手の旺文社グループ、豪州最大の投資銀行マッコーリー
グループを経て、2009年に(株)長大に入社。現在は経営企画本部財務・法務部長とマニ
ラ事務所長を兼務。経営学修士・経済学修士。2015年より東洋大学大学院国際地域学
研究科博士後期課程在籍。



川島 緑（かわしま・みどり）上智大学総合グローバル学部教授
専門：フィリピン政治、フィリピン近現代史。
最近の研究分野：フィリピン・ムスリムの政治・社会・宗教運動と思想。フィリピンを含む
東南アジアのイスラーム書の比較研究。
東京大学大学院総合文化研究科国際関係専攻修士課程修了。
主要著書：『マイノリティと国民国家 - フィリピンのムスリム』山川書店、2012年。



中川 享之（なかがわ・たかゆき）国際協力機構(JICA)平和構築・復興
支援室 企画役
1996年JICA入構。JICA本部・国内機関のほか、ケニア事務所、アフガニスタン事務所勤
務を経て、2012年から外務省に出向。在フィリピン日本国大使館の書記官として、ミンダ
ナオ国際監視団(International Monitoring Team: IMT)に駐在。2016年7月から現職。



土肥 優子（どひ・ゆうこ）国際協力機構(JICA)客員専門員
NGO勤務を経て、2000年よりJICAの平和構築に関する業務に携わり、企画調査員として
インドネシア、東南部アフリカ、スーダンの平和構築支援業務に従事。2013年より現職。
平和構築分野の方針やツールの策定への支援に加えて、フィリピン・ミンダナオ、ネパ
ール、コートジボワール、スーダン、南スーダン、ソマリア等の事業へのアドバイザー支援
を実施。

会場へのアクセス

住所〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線/四ツ谷駅 麴町口・赤坂口
から徒歩5分